

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみわん（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	8年 1月 15日		～ 8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	8年 1月 15日		～ 8年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心感をもって通所できている。	見通しをもって活動できるように日々の活動内容を伝え、スケジュールを把握できるようにしています。物理的な構造化を行い、遊び場、勉強の場を明確に分けて対応しました。	視覚的なスケジュールを準備し、活動の見通しを立てることで心の準備ができるようにしていきます。パーソナルスペースを確保し、個々に合わせて安心して過ごせる環境を整えていきます。
2	さまざまなプログラムを実施している。	お子さまの現在の発達段階に合わせた「少し頑張ればできる。」ものに設定し、成功体験を積み重ねていけるようにしていきます。	個々の障害特性に合わせたプログラムを作成し、自信を持って過ごせるようにしていきます。
3	子どもが通所することを楽しみにしている。	「訓練する場」ではなく「わくわくする居場所」になるよう個々の興味に合わせたプログラムを組むようにしました。	小さな頑張りを見逃さず、ポジティブなフィードバックを行うことで心地良さを感ぜられるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの活動スペースに狭さを感じている。	規程を満たしてはいますが、お子さまの特性に合わせて考えると狭く感じていることがあります。	お子さまの目線や同線でレイアウトの工夫を行っていき、空間に圧迫感を感じないようにしていきます。屋外活動も取り入れながらプログラムを作成していきます。
2	保護者同士の交流の場が設けられなかった。	令和7年7月に開所したばかりのため、保護者さま同士の交流の機会を設けることができませんでした。	必要と要望に応じて、次年度は保護者さま同士の交流の場や研修会の開催などできるように検討いたします。
3	ホームページやSNSで情報の発信がなかった。	SNS等の活動報告は当初検討しておらず、要望等も把握しておりませんでした。ホームページに関して、家族に閲覧の仕方や内容が周知できていませんでした。	法人内の取り組み等も知っていただきたく、ホームページについて詳細を保護者さまにお伝えしていきます。SNSに関しては保護者さまに要望等をお聞きしていきます。

事業所名	放課後等デイサービスみわん（児童発達支援）		公表日 8年 2月 28日				回収数	5名中5名
						利用児童数	年 月 日	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2			元気な男の子が多いのでもう少し広くても良いかなと思います。	活動のスペースの使い方を工夫しながら安全に配慮した効率的な活動の実施に努めてまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1	イスや机の配置など工夫されています。	今後もお子さまの状態と特性に合わせて、事業所内の構造化に努めてまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5				いつもきれいです。	今後も清潔で心地よい環境を保てるようにいたします。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	1			まだ通い始めてあまり時間が経っていないのでこれからもっと話す機会があると思います。	今後もより良い支援ができるよう、保護者やお子さまに寄り添い、個々に必要な支援内容を提供できるよう努めてまいります。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	1			毎日いろいろなことをしています。	様々な経験ができ、成功体験を積み重ねられるよう支援していきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4			1			
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1			これからだと思います。	家族支援プログラムを現在行っておりませんが、今後必要に応じて実施を検討していきます。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1			1	まだ他の保護者さまに会った事がないです。きょうだい交流はまだ先の話などと考えています。	今まで実施したことがありませんが、今後必要に応じて検討していきたいと思えます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5							
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5							

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1		1	ホームページなどをあまり見ていないのでわかりませんが、これから見てみようと思います。	ホームページなどについても今後周知できるようにお伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		1	まだ週に一回しか通えていないので、訓練に参加した事がないです。	定期的に避難訓練を実施しております。今後、開催する際は日程を事前にお伝えいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5				とても楽しそうです。	お子さまが安心して過ごせるよう引き続き努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					

事業所名	放課後等デイサービスみわん（児童発達支援）		公表日 8年 2月 28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	3	2	全体のスペースは狭いが、活動ごとに家具の配置を都度変えて対応しております。	今後も限られたスペースの有効活用ができるよう職員間で話し合っております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		予約に応じて配置人数の調整を行っております。	今後も職員の専門的知識のスキルアップに努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	お子さまが自分で遊具を選び、片づけられるように配置しております。場面ごとにスペースを分けることで混乱しないようにしております。	今後もお子さまが過ごしやすい環境を整えてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	限られた空間ではありますが、お子さまの状態に合わせて使用しております。毎日の清掃の他、遊具の点検を実施しております。	今後も環境整備に努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		活動の内容やお子さま一人一人の特性に合わせて、適宜部屋を分けて使用しております。	今後も障害特性や状況に合わせた環境整備を努めてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	療育前の打ち合わせや各会議等で話し合いをして情報共有しております。	今後もより良い支援を提供できるようケース検討や積極的な研修の参加を行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		令和7年7月開所のため今回が初めての全体の保護者さま評価であります。これまで個別にご意見を頂いたものはより良い支援に繋げております。	頂いた評価やご意見を大切に良い支援に繋げてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々、話し合いを行い改善に努めております。	より良い支援に繋がるよう、様々な角度からの支援方法を尊重し、改善に繋げてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	自己評価は行っておりますが、現在、外部による第三者評価は行っておりません。	今後、必要に応じて実施を検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		事業所内での研修は月1回以上実施し、法人内でも適宜行いました。外部の研修会にも積極的に参加してまいりました。	今後も法人内外の様々な研修会に参加し、スキルアップに努めてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ガイドラインに沿って支援プログラムを作成し、公表しております。	今後も個々の障害特性に合わせたプログラム作成を行っております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		事業所独自のアセスメントツールを使用し、子どもの課題を把握し、個々に合わせて支援計画を作成しております。	今後も日々のアセスメントをしっかりと実施し、些細な変化を逃さずに、より良い支援を実施できるよう努めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員全員でケース会議を行い、作成しております。	今後も共通理解、統一した支援を行えるよう努めてまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画は職員全員で会議を行い作成しているため情報の共有は図れています。さらに支援計画に沿った活動を行えるよう全員が関わり、確認しております。	今後も共通理解、統一した支援を行えるよう努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		事業所独自のアセスメントツールを使用し、お子さまの課題を把握しております。日々の行動観察を記録に残し、保護者にも情報共有しております。	今後も共通理解、統一した支援を行えるよう努めてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに沿ってお子さまの支援に必要な項目を適切に設定しております。本人支援だけでなくや保護者さま、時には園などにも必要に応じて対応しております。	今後もより良い支援ができるよう努めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		立案リーダーの元、職員全員で話し合いをし、活動内容を決めております。	今後も職員間で意見交換しながら、プログラム立案が行えるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		前回の内容を振り返りながら五領域を偏りなく入れ、お子さまにとってワクワクする内容になるよう工夫をしています。	活動後の評価で固定化した方が良いものは継続し、他は飽きず楽しめる内容になるよう努めてまいります。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		お子さまの状況や障害特性に応じて、個別活動と小集団活動に分けて支援しております。	今後もアセスメントをしっかり行い、個々にあった支援が提供できるよう努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	打ち合わせや書面にて、活動内容や役割分担について確認し、注意事項や振り返りを行っています。	朝のミーティングを綿密に行い、情報の共有を徹底することでより良い支援に繋がるように努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	活動の振り返りや反省点、気づきは書面にて毎日記録しており、職員全員が確認できるようにしております。	当日に口頭にて振り返りをするのが困難な日もありますが、今後も情報の共有を徹底することでより良い支援に繋がるように努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援内容、方法、達成度、様子等毎日記録をし、次の支援に繋がるよう努めてまいりました。	現在の記録方法とさらに障害特性に応じた支援内容や方法、記録等を行い、より良い支援に繋がるよう努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		支援計画の更新時や、その他必要に応じて適宜モニタリングを実施しております。	今後も共通理解、統一した支援ができるよう職員全員が参加しモニタリングを実施していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者を中心に参画しております。必要に応じて他の職員も参画できるようにしております。	会議の内容に関しては記録を残し、事業所内での共有を今後も徹底していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要時応じ、相談支援事業所や他事業所、通園先と連携を取っております。	内容に関しては、事業所内での共有を今後も徹底していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	保護者さまの要望に応じて適宜連携を図っております。	今後もより積極的な連携を図ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5	令和7年7月開所のため就学移行の実績がありません。	今後、就学移行の際は連携を図ってまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		地域の児童発達支援センター主催の研修会に積極的に参加しております。	今後も、研修会等に参加し職員のスキルアップと連携を図れるように行ってまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	地域の祭りに参加いたしました。	今後も積極的に地域の行事に参加してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の連絡帳や送迎時に些細な内容であっても家族に報告をし、共通の理解を図っている。	今後も密にコミュニケーションが取れるように努めます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	現在、家族支援プログラムは実施しておりませんが家族からの相談事には個別に対応しております。	今後必要に応じて検討いたします。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時や変更時、または必要に応じて説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めてまいります。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		計画を作成する際、保護者さまや本人へ聞き取りを行い、要望や意向を確認しています。	今後も保護者さまと本人への聞き取りを丁寧に行ってまいります。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		面談で計画の説明を行い、同意を得ています。	今後も説明を丁寧に行ってまいります。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時や連絡帳、電話にて保護者さまとコミュニケーションを密にとり、信頼関係を築けるよう努めています。	今後は面談等でもお話を伺い、信頼関係を築けるよう努めてまいります。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	今までニーズを把握しておらず、実施実績がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		5	契約時に説明を行っています。相談等においては都度、出来る限り対応しております。	相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		5	現在は紙媒体でのみ行っております。	今後必要に応じて検討いたします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		5	個人情報書類等は、鍵付きの書庫で管理しております。	今後も個人情報が記載されている書類の保管には十分に留意いたします。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		5	発達支援室のスペースを仕切ること、個人ごとにパーテーションを設置すること、絵カードやスケジュール表を用いるなど障害特性に合わせた対応を行っております。	より良い支援ができるよう今後も、障害特性に合わせた支援を行っていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3	2	地域のお店で買い物したり、地域のお祭りに参加するなどの交流を図っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		5	各種マニュアルは玄関に備えつけてあります。避難訓練は年間2回以上実施しております。	今後も訓練等の実施と保護者さまに内容の周知を徹底してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		5	避難訓練は年間2回以上実施しております。BCPを策定し、周知できるようにしております。	今後も訓練等の実施と保護者さまに内容の周知を徹底してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		5	契約時やアセスメント等で確認しております。	てんかんや服薬ついて、都度確認をし職員間で周知できるようにしていきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5	食事の提供はありませんが、アレルギーの有無については契約時やアセスメントで確認を行います。外食体験時など再度確認しております。	今後も外食体験時やクッキングの行事などでは都度、確認をしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		5	安全計画を策定し、計画に沿って事業所内で訓練や研修、確認を行っております。	今後も安全に留意して支援を行ってまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		5	季節ごとの安全確保について都度冊子配布にて保護者さまへ伝え、気を付けることを共有しております。何かあった際は迅速に電話連絡をしております。	今後も安全確保について周知を図ってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		5	ヒヤリハット報告書を都度作成し、会議等でフィードバックし再発防止に努めています。	今後も安全に留意して支援を行ってまいります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		5	定期的な虐待防止についての研修を開催しております。	今後も定期的な研修の継続して行ってまいります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		5	保護者さまには契約時、説明を行っています。職員に対しても周知するための研修を行っております。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。	